

特定外来生物

ヒアリ (*Solenopsis invicta*)

ヒアリは南米原産で、体長2～6mmほどの小さな赤茶色のアリです。オーストラリアや北米、中国などでは既に定着しており、世界の侵略的外来種ワースト100にあげられています。

写真のように土で大きな塚を作ります。1つの塚にいろいろな大きさのアリが混在します。攻撃性が強いいため、棒などで塚をつつくと集団でワッと出て来て襲いかかるのが特徴です。

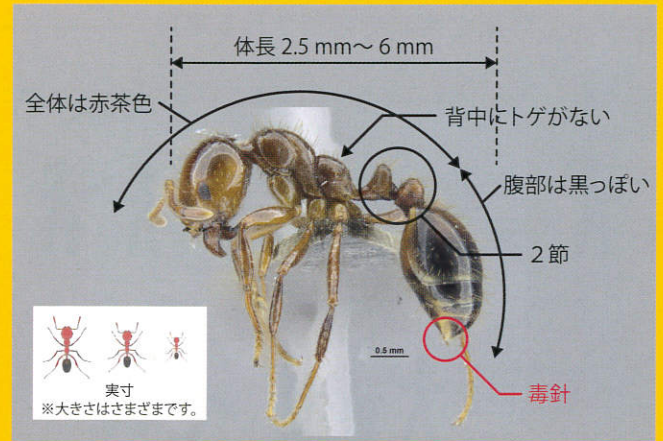


ヒアリの巣(塚)



ヒアリの巣口

特定外来生物に指定されているヒアリ等については、全国主要港湾において環境省により調査が行われています。また、沖縄県内では、沖縄科学技術大学院大学(OIST)らが、県の事業委託により調査を続けています。国内では2017(平成29)年に本州の港湾ではじめて発見されましたが、県内では現在見つかりません。



もし、ヒアリに刺されたら・・・

ヒアリに万が一刺された場合、激しい痛みや腫れを感じます。人によっては30分ほどで蕁麻疹や体調不良などの全身症状が出る場合があります。

少しでも異常を感じたら、すぐにお近くの医療機関でアリに刺された旨を伝えて受診してください。

刺されたときの症状	軽度	激しい痛み 10時間ほどで膿がでる
	中度	部分的、または全身にかゆみをとまなうじんましんが現れる
	重度	呼吸困難、血圧低下、意識障害 すぐに処置が必要

ヒアリ!?

ハッとと思ったら まずチェック!!

沖縄県内で見られる、よく似たアリ

アリの仲間是国内で300種あまりが記録されており、そのうちの多くが沖縄県内で見られます。ヒアリと同じように赤～赤茶色をした小型のアリも多く存在し、生態系の中で重要な役割を果たしています。専門家でも顕微鏡で見なければ種の同定は容易ではありません。ヒアリの特徴である「塚がまわりにはないか」を、まず確認してください。

アミメアリ



体長:2.5mm

色と体型がヒアリとよく似ていますが、アリ塚を作りません。背中にトゲがあります。

オオシワアリ



体長:3mm

色と体型がヒアリとよく似ていますが、アリ塚を作りません。背中にトゲがあります。

ツヤオズアリ



体長:2mm~3.5mm

色と体型がヒアリとよく似ています。大きな兵アリが見られることがあります。低いアリ塚を作りますが、アリ塚をついても激しく攻撃してきません。背中にトゲがあります。

ヒアリに関する
お問い合わせ・連絡先



環境省 那覇自然環境事務所

沖縄県 環境部自然保護課

098-836-6400・098-866-2243

もしかして
私のせい？

ヒアリをはじめとする特定外来生物は、 外来生物法により移動、運搬等が禁じられています。

外来生物法で規制される事項

飼育・栽培

保管

運搬

許可を受けていない者に対する譲渡など



野外に放つ・
植える・まく

販売

輸入



外来生物法に違反した場合には、最高で個人の場合3年以下もしくは300万円以下の罰金またはその両方、法人の場合は1億円以下の罰金が科せられます。防除の実施が必要となった場合においては、原因者責任も問われます。

見慣れない水草が水がめに浮かんでいたり、庭や畑で急に増えてきた植物はありませんか？
特定外来生物を拡げているのは、あなたかもしれません。

身近な自然についてふだんから見つめ、侵略的な外来種の早期発見・初期防除をお願いします。

沖縄県内で注意を要する特定外来生物の例

薄黄色の泡巣が
付いていませんか？



シロアゴガエル

熱帯アジアに分布する体長4～8cmのカエル。国内では沖縄島中部で1964年に侵入が確認され、わずか50年あまりの間に、沖縄諸島、宮古諸島などさまざまな島にひろがりました。春から秋にかけて木の枝や集水マス、コンクリート壁などに薄黄色の泡に包まれた卵(泡巣)を産みつけます。繁殖期間中何度も産卵し卵はわずか4、5日でふ化して、あっという間に増えてしまいます。苗木や資材に泡巣等が付着していないか確認し、万一見つけた場合は防除をお願いします。

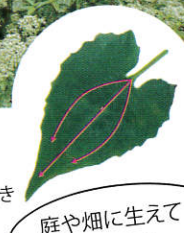
ツルヒヨドリ

南北アメリカの熱帯地域を原産とする、つる性の植物。日本では1984年にうるま市の天願川河口で発見され、沖縄島中部を中心に急速に分布を拡げています。国外では農作物や生態系に大きな被害を及ぼしており、見つけたら拡散しないよう注意しながらすぐに防除することが必要です。



ツルヒヨドリの葉

- ・葉のふちは少しギザギザ
- ・葉脈はつけ根からカーブを描きながら先端に向かって入る



庭や畑に生えて
いませんか？



水がめに浮かんで
いませんか？

ボタンウキクサ

南アフリカ原産。水面に浮かぶタイプの水草で、水面をおおい尽くすほど爆発的に増えます。水がめや池で放置されている例もありますが、栽培する意思がない「保管」についても、外来法では厳しく禁じています。



特定外来生物に関する詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください

那覇自然環境事務所 「外来生物」 <http://kyushu.env.go.jp/naha/wildlife/index.html#gairai>

環境省 「日本の外来種対策」 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

沖縄県 「外来種対策事業(ヒアリ等対策)」 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizen/hogo/gairaisyu_hiari.html

沖縄科学技術大学院大学(OIST)「OKEON 美ら森プロジェクト」 <https://okeon.unit.oist.jp/>

【編集・発行】



環境省 那覇自然環境事務所
〒900-0022 沖縄県那覇市樋川1丁目15番15号 那覇第一地方合同庁舎1階

沖縄県 環境部自然保護課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

沖縄科学技術大学院大学(OIST) OKEON美ら森プロジェクト
〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村谷茶1919-1



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

